

平成 28 年度 九州考古学会総会議事録

日時：平成 28 年 11 月 26 日（土）

場所：九州大学西新プラザ

議長：岡寺良会員

I. 一般会計事業の活動報告と会計報告及び来年度活動計画・予算案

報告 1. 平成 28 年度活動報告

1-1. 平成 28 年度学会活動報告

平成 28 年度の学会の活動概要（運営委員会日程、九州・嶺南合同学会、学会賞）が、大坪志子運営会員により報告された。

1-2. 平成 28 年度合同学会実行委員会活動報告

平成 28 年 8 月 18～21 日に開催した第 12 回九州考古学会・嶺南考古学会合同考古学大会の概要ならびに実行委員会の活動概要が、森本幹彦運営委員により報告された。

1-3. 平成 28 年度埋蔵文化財保護対策委員活動報告

平成 28 年度埋蔵文化財保護対策委員会の活動概要（熊本地震への対応）が、岩永省三埋蔵文化財保護対策委員より報告された。

報告 2. 平成 28 年度会計報告

平成 28 年度会計について、山崎頼人運営委員により報告された。

報告 3. 平成 28 年度会計監査報告

宮井善朗会計監査委員により、予算執行が適切であることを確認した旨の報告があった。

会場から学術刊行費の予算と決済に関して質問が出た。これについては、田尻義了事務局員により説明がなされた。

議題 1. 平成 29 年度学会活動計画及び予算案について

1-1. 平成 29 年度学会活動計画

平成 29 年度の学会活動計画が、大坪志子運営委員により報告された。ここで、平成 29 年 7 月 15～16 日に第 7 回夏期大会を、鹿児島県考古学会と合同で開催する旨が報告された。

また、第 11 回九州考古学会賞への会員諸氏からの幅広い推薦のお願いと、次年度総会時に発行する『九州考古学』第 92 号への寄稿のお願いがなされた。

会場から、九州考古学会総会や夏期大会等の日程が、他の学会開催日と重複しないよう配慮する必要が指摘された。

第13回九州考古会・嶺南考古学会合同考古学会が2018年夏に長崎で開催予定であること、また、これに向けた準備を開始する旨が、森本幹彦運営委員より報告された。

以上の活動計画については、会員の拍手を以て承認された。

1-2. 平成29年度予算案について

平成29年度予算案について、山崎頼人運営委員より報告され、会員の拍手を以て承認された。

議題 2. 役員改選について

溝口孝司運営委員より、任期満了に伴う役員改選について、下記の通り説明が行われた。

会長	武末純一委員	→	小池史哲委員
運営委員	小池史哲委員	→	岸本圭委員
	溝口孝司委員	→	宮本一夫委員
	桃崎祐輔委員	→	岩永省三委員
	森本幹彦委員	→	比嘉えりか委員
	山口裕平委員	→	浦井直幸委員
地域委員	渋谷格委員	→	中野充委員
	長直信委員	→	吉田和彦委員
	渡辺芳郎委員	→	石田智子委員
会計監査	宮井善朗委員	→	菅波正人委員
埋蔵文化財保護対策委員	岩永省三委員	→	桃崎祐輔委員
	本田道輝委員	→	渡辺芳郎委員
合同学会委員	森本幹彦委員	→	比嘉えりか委員
			高倉洋彰委員 (増員)
			武末純一委員 (増員)
編集幹事	小池史哲委員	→	岸本圭委員

以上については、会員の拍手を以て承認された。

議題 3. その他

溝口孝司運営委員より、『九州考古学』掲載論文のレポジトリ掲載について報告された。

会場より、今年度の発表資料集に関して不備が多い点が指摘された。また、会誌等のバックナンバーが大量であることについて、今後発行部数を考えるよう指摘がなされた。

II. 九州考古学会学会賞・奨励賞授与式

小池史哲運営委員により、受賞者の発表および選考理由の説明が行われた。続いて、武末純一会長より、考古学会賞・大坪志子会員、考古学会奨励賞・太田智会員の表彰および記念品授受が行われた。